

加藤弘美さん
身障者の作文「コンクール
に入選 トイツ旅行へ

当院にて在宅医療をしたことのある弘美さんが、産経新聞の「コンクール」にみごと入選されました。身体に悩みを持つ人達に元気を与えてくれる内容なので掲載させていただきます。

「夢は叶えるためである」

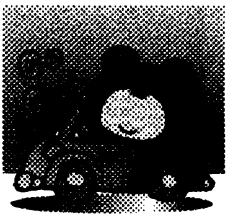
「夢なんてみるものじゃない、叶えるもの」ってどこかで聞いたことのある言葉ですが、障害者になってからは今まさにそれを実感しています。

私は今から八年程前、突然病気になりそれまでの平凡な毎日とは一変して車椅子の生活になってしまいました。初めは何もかも失い、ただ絶望してどうやって生きていったらいいかさえも分からずじまいました。それが今少しづつ叶えられていく自分のささやかな夢に、私自身喜びと同時に驚きも感じているところです。

私のモットーとして「戦」というのがあります。「これは「戦う」の戦い」よりもむしろ「どんな事でもやってみなければ分からない、まず取り掛かってみる」ということなのです。飲食、排泄、衣服の着脱、そんなことからなんにも出来ない

くなくなってしまった私は日常的な動作一つ一つが最初の頃の目標でした。それらを時間と努力をもってクリアした時、私は「何でもやってみなければ分からない。だれにも限りない可能性があるんだ」という事を身を持って知りました。そしてその事は再び私に夢を与えてくれました。「たった一度しかない自分の人生をたとえ車椅子に乗っても楽しみたい」と考えるように私はやっとなったのです。なんとそれは車椅子生活に入ってから四年目の頃のことでした。

だからまず歩いて移動する代わりに手段として自動車の運転にチャレンジしました。免許証はもともと持っていたのでそれを再発行してもらうにはそれほど大変ではなかったのですが、車椅子を自分で自動車に積んだり降ろしたり出来なくてその事が最大の難問でした。それが昨年やっと念願叶ったのです。車椅子を軽量でコンパクトのものに代えたという事とリハビリの先生のアドバイスという好条件が重なってついに「やったあー」って嬉しくてひとりでも好きな時に好きな所へ行けることに私は最高の喜びを感じています。



私が今夢中になっていることの1つにお菓子作りがあります。バター、お砂糖、卵それに小麦粉を混ぜてオーブンに入れただけで、あんな美味しいクッキーやケーキに変身してしまふなんてなんと素敵なことなのでしょう。今度は・・・を入れてみようとか、・・・の代わりに・・・を使ってみようとかあれこれ考えることは楽しくて、まるでオーブンの中でケーキがふくらむように私の夢もふくらんでいくのです。さらに嬉しい事に、このお菓子作りを通して仲間と教え合いながら楽しんでいるうちに、その仲間の輪もどんどん広がっていくのでした。



このように自分でやりたいと決めた事はどんなに小さな事でも、そしてどんなに時間はかかってもやり遂げてその一つの夢が叶えられたときは、それはとても嬉しいものです。それにはまず勇気を出して一歩を踏み出してみる事です。きつと目の前には夢に続く道が開けてくるのでしよう。だって夢は叶えるためにあるのだから……。

(和田ケ原在住)

みなさんご参加下さい。
わかいやあひ医学講話
子育の医学 馬場一雄先生

平成十年十月十七日(土)
午後二時～三時三十分
大井町立中央公民会
足柄上医師会が、一市五町、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、保健婦会などの協力を得て毎年開催しています。

一般住民の皆様むけの医学講演会です。数年前アレルギーのご講演いただいた、日本大学名誉教授の馬場先生に、「子育て」についてやさしくお話をしていただく予定です。
多数の皆様のご参加をお待ちしております。
会場は大井町役場隣で、駐車場はあります。



みなさんの疑問や投稿をお待ちしております。
☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を
受付けにお出し下さい。
診察券は毎回お持ち下さい。



9月・10月の休診日

(日曜・祭日)

水曜・土曜・第一火曜午後)